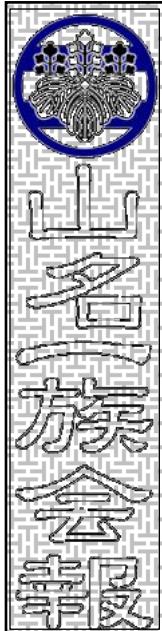


4月21日に山名年浩会長が学長を務められている京都経短期大学で場所をお借りして山名会役員会を行いました。役員会では昨年11月に行つた平成27山名会歴史講演会（第22回総会）の振り返りや、平成28年の活動について検討を行いました。以下に役員会の概要をご報告致します。

H28年度の活動について役員会開催



〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2365法靈等内
電話 0796-981-1151
FAX 0796-981-1161

H27歴史講演会

（第22回山名会総会）の反省

昨年11月28日に京都市池坊短大・心ホールにて行いました平成27山名会歴史講演会（第22回総会）ですが、その目指すところは山名会の存在を少しでも広く知つていただき、会に興味を持つていたらしくでした。

全般的に振り返って

御案内開始当初は反応が少なく「50名集まるかどうか?」と、閑散とした会場風景となることを心配しておりましたが、役員各位の働きかけもあり、産経新聞・京都新聞でも行事



京都経済短大学長室をお借りしての役員会
ゆったりした学長室で相談も沢山出来ました。ご
配慮に感謝申し上げます。

の紹介記事を掲載いただいた。
・会員各位もお知り合い連れだつてご参加下さり終盤に参加者

- ・最終的には参加者は120名を上回る盛況で実施できた。
- ・講演ではお二人の講師に各人各様のスタイルで興味深い内容の講演をいただき、聴講者からは良い評価を得た。
- ・出来れば一発限りの打ち上げ花火で終わらせるのではなく、継続的に取り組んでは?
- ・数が伸びた。
- ・講演ではお二人の講師に各人各様のスタイルで興味深い内容の講演をいただき、聴講者からは良い評価を得た。
- ・出来れば一発限りの打ち上げ花火で終わらせるのではなく、継続的に取り組んでは?
- ・会員各位もお知り合い連れだつてご参加下さり終盤に参加者

この流れを受け、出来れば平成28年の事業も、山名会の裾野を広げることに重点を置いた、前年同様の活動が継続出来ればと願っています。

会計面では

多くの皆さんのご参加をいたしました山名会歴史講演会ですが、残念ながら会計面では予算に対し若干の赤字で終わっております。（助成金増額で調整済み）

済み

・参加者数の割には思つた程には一般有料聴講者の数が伸びず、30名程度で留まつた。

・会場での山名会作成資料や書籍の販売を考えていたのだが、制約があり十分にアピールが

- ・年次総会会場が居酒屋で会議と言つ雰囲気ではなく、落ち着いて審議ができなかつた。
- ・紅葉シーズンの京都で土曜日開催と言うこともあり、宿泊場所の確保が絶望的だつた。
- ・会員参加費を設定する際に幾分か収益が出るような設定をしていなかつた。
- ・できなかつた。

その後が重要

今回は幸いにも120名（内会員は27名）の方がご参加いたしました。中には山名氏や山名会に深い関心を持たれた方も多く、今後はそんな方々への働きかけを続けたいと思います。

H27山名会歴史講演会

第22回総会 決算書

役員会では山名会の組織として、今後の方針性についても話し合いました。

山名氏一族会の性格

平成23年に会員数20数名で活動を再開した現・山名会も旧・山名会会員様を中心に再加入していただき50余名までに回復しました。しかし今後は今までのように飛躍的な会員数増加は難しい面があります。

平成27年11月28日実施
会場：池坊短大心ホール
参加者数：約120（内会員27）

その打開策の一つとして冒頭の山名会歴史講演会の企画の如く山名会の門戸を広げて、会の活動にご興味のある一般の方にも参加を願う方向で、ここ暫くは活動を継続して行きたいと考えています。

その流れをもとに役員会では今後の山名会の活動姿勢として、・山名氏一族会としての軸を維持しながらも、会の門戸を広げ多くの有志に活動に参加願い会の発展に協力を願う。

・山名氏を主題とした「歴史愛好の会」という性格も打ち出して、山名会会員の裾野を広げる。

・一族の方、一般会員の方関わらず山名会会員で有ることを「誇り」と感じていただけるような活動や会の存在価値を高める努力を惜しまない。

現在の山名会は「私的な任意団体」で気楽な会ではあります。が、一般の方にも活動への参加を呼びかける場合、会の社会的な信用性や透明性も重要な要素となります。

山名氏一族会の組織面

H27山名会歴史講演会の動画を公開しています。

インターネットの動画配信サイトで11月に行いました歴史講演会の様子等をご覧頂けます。参加されなかった皆さん是非ご覧下さい。

「山名会 動画」で検索していただけるをご覧頂けると思います。

その信用度を高める方法の一つとして、山名会の「一般社団法人」化を検討しています。

- ・「一般社団法人」化で「私的な任意団体」よりは信用度も多少は向上する。（活動内容次第ではあるが？）
- ・NPO法人に比べ設立は容易であるが、登録に関連し10万円程度の税金納入が必要。
- ・公益法人のような税制優遇は無いものの、財産の保有が可能で、相続からも関係なくなる。

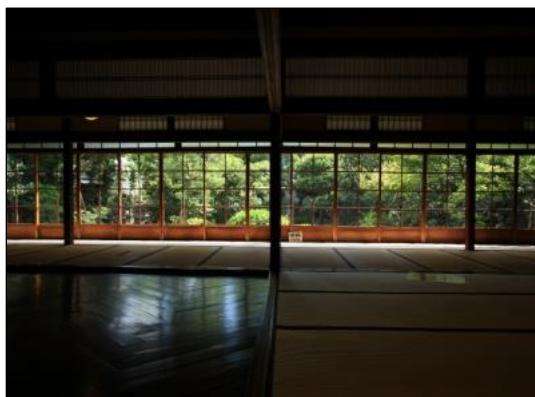
今すぐと云うわけでは有りませんが、今後も一般社団法人化の検討を重ねて行こうと考えているところです。

懇親会	講演	時間	会場	期日
平安女学院内 エディカフェ	②仮題「京都と西陣織」 その後、質疑と討論 西陣織関係者	午後5時～7時	総会懇親会 (旧有栖川邸・有栖館)	平成28年11月13日(日)
平安女学院大学教授	①仮題「室町・戦国時代の御所西地域」 (学内・エディカフェ)	午後1時～4時半	京都・平安女学院 有栖館、エディカフェ	平成28年11月13日(日)

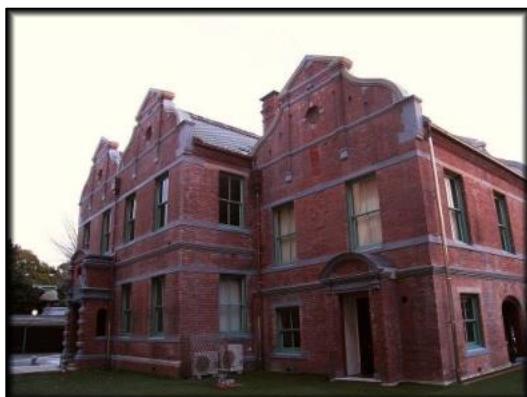
平成27年同様の歴史講演会を中心とした総会行事を継続し、会員の掘り起こと山名会の存在の周知に務めたいと思います。

H28年講演会と総会（案）

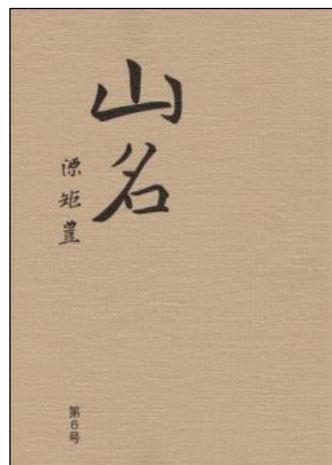
- 平安女学院所有の旧・有栖川宮邸（有栖館）大広間を借用しての歴史講演会と平安女学



有栖館（旧有栖川宮邸）の門（右上）と大広間（左上）：講演会場の予定
平安女学院の明治館（右下）とエディカフェ内部（左下）：総会会場を予定。



山名会総会会場下見



連休明けに（5月17日）有栖館を中心に総会予定会場を下見

H28年の活動について

院「エディ・カフェ」（学食）での年次総会と懇親会を計画。

検討事項

- 有栖館大広間（80畳敷）でイス使用の席設置が可能か？

- 百名以上の人員収容は難しいのではないか？
- 泊面は昨年よりは余裕があるのではないか？
- 本年は日曜日開催でもあり宿のでは？

会誌「山名」第7号発行の件

- 主要記事は平成27山名会歴史講演会でご講演願った二師（松本先生・山本代表）の講演内容を文章化し、両講師に加筆願って「山名第7号」の主要原稿とした。

- 山名会会員・役員からの寄稿も大いに期待する。
- 会計的には少しシンドイですが、山名会の記録としての側面もあり、出来る限り発行を続けたい。

その他に



皆様からのご協力をいただき、見送る事が出来ました。

葬儀当日は大寒のさなかで、
暦通り全国的な寒気に覆われた
日となりましたが、山名義英副
総裁・山名年浩会長・山名靖英
理事長ご夫妻、それに大田垣佐
登相談役各位のご参列を仰ぎ檀
家と共に見送っていただきまし
た。また皆さま方から御香志を
惜しむべきはもうあと2週間
早く印刷に回しておれば、完成
した法雲寺縁起を本人に手渡す
事が出来たかも知れない点です。
関係各所に配付し、まだ若干
の在庫が御座いますので、御希
望の方が御座いましたら事務局

大分時間が経つてからのご報
告となります。この間、慌た
しきを理由に山名会の事務が
吉川廣昭が1月17日に急逝し、
葬儀を1月22日に執り行いまし
た。（世寿89才）

葬儀当日は大寒のさなかで、
暦通り全国的な寒気に覆われた
日となりましたが、山名義英副
総裁・山名年浩会長・山名靖英
理事長ご夫妻、それに大田垣佐
登相談役各位のご参列を仰ぎ檀
家と共に見送っていただきまし
た。また皆さま方から御香志を
惜しむべきはもうあと2週間
早く印刷に回しておれば、完成
した法雲寺縁起を本人に手渡す
事が出来たかも知れない点です。
関係各所に配付し、まだ若干
の在庫が御座いますので、御希
望の方が御座いましたら事務局

し、構想を固める。

法雲寺前住職葬儀

お供えいたしましたこと深く
お礼申し上げます。

4月下旬には百ヶ日も無事迎
え、ようやく平常に戻ったよう
に感じています。この間、慌た
だしさを理由に山名会の事務が
滯つておりました点お詫び申し
上げます。

「法雲寺縁起」発刊

前住職の置き土産では御座い
ませんが、（結果的にはそうな
りますが）1月下旬に「平成版
『法雲寺縁起』」が完成しまし
た。

前住職が法雲寺の前身から現
在までの変遷を整理し次代に残
そうと決意し、平成26年の秋か
ら執筆に取り組み、途中体調を
崩して入院を挟んだりして筆が
なかなか進まなかつたのですが、
平成27年12月に入稿し、本年の
1月末の完成となりました。

までご連絡ください。（協力金
2千円）

尚、編集を急ぎました関係で
校正が不十分で誤字等あります
点ご容赦ください。

編集後記

父存命中は「世話」もありそんな
に自由に遠出など出来ませんでした。
しかし父他界で、そんな心配をする
必要が無くなったのですが、制約
無く自由に動き回って居るかと言え
ば、それでも無い。
元々そんなに自由に動ける日常では
は無いのに、行動が制限されるのは
「父の世話が有るからだ」と勝手に
理由付けしていたのでしょうかね？
今頃やっと分かりました。

「法雲寺縁起」正誤表

					頁	
					行	
1 2 9	1 1 2	8 5	4 7	9		
1 1	1 6	1 0	5	1 1	3	町誌
山名福平	両軍が和合した…	姿ではあるまいか。	言いますすと	ご一考		誤
山根福平	この行抹消	姿ではあるまいか。」	言いますと	ご一行		正

「法雲寺縁起」に上記の誤字等が御座いました。読みにくい事で申し訳御座いません。上記に修正お願い致します。



「物語山名氏八百年」と同様に読みやすい内容となっています。

H28年度会費納入のお願い